

ひだまりベーカリー

毎朝、焼きたてを、となりの食卓へ。

住宅街の小さなパン屋です。国産小麦の生地を毎朝4時から仕込み、7時の開店には、その日焼いたパンだけを並べています。忙しい朝の食卓に、安心しておいしいものを。取り置きも承ります。



私たちの約束

毎朝7時に、その日焼いたパンだけがそろっている。

約束を支える行動

4時から仕込む。焼き上がり時刻を店頭とInstagramに毎日出す。前日のパンは並べない。

想い

毎朝の食卓は、家族がその日いちばん最初に顔を合わせる場所。そこに、安心して出せるおいしいものがあれば、一日が少しやさしく始まると思う。自分の子どもにそうしてあげたかったから、近所の家族にも届けたい。

目指す風景

朝7時、店の前に自転車が並び、「ってきます」の前にパンを受け取っていく。5年後、ここで育った子どもが「うちの朝ごはんのパン」と言ってくれる。

価値観

正直 材料と焼いた日を、聞かれる前に伝える	朝を大切に 朝7時の開店は、何があっても守る	近所の一員 地域の行事には、売り込みではなく参加者として関わる
---	--	---

ブランドの性格

人にたとえると

近所の、早起きで世話好きなお姉さん

性格を表す言葉

あたたかい・正直・きちんと・素朴・明るい

「～だけど、～すぎない」

親しみやすいけど、なれなれしすぎない。

素朴だけど、雑ではない。

届けたい人

いちばん大切なお客さま

忙しい朝に、家族に安心できるものを出したいと思っている、近所の共働きの親。

来る場面

平日の朝7時台、子どもを送り出す前か出勤前に自転車で。週末は家族で散歩のついでに。

来たあとに、どうなってほしいか

朝の食卓で「おいしい」と言われて、忙しい朝が少しだけ明るくなる。ちゃんとしたものを出せたと思える。

二番目に大切なお客さま

朝の散歩のシニア夫婦

毎朝8時ごろ、散歩の途中に。

応えきれないこと

30個以上の当日注文（前日までのご予約で承ります）。予約なしの取り置き。卵・乳・小麦をすべて除いたパン（設備上、安全を約束できないため）。

選ばれる理由

唯一の組み合わせ

国産小麦 × 朝7時に焼きたて × 住宅街の中 × 名前を覚えてくれる

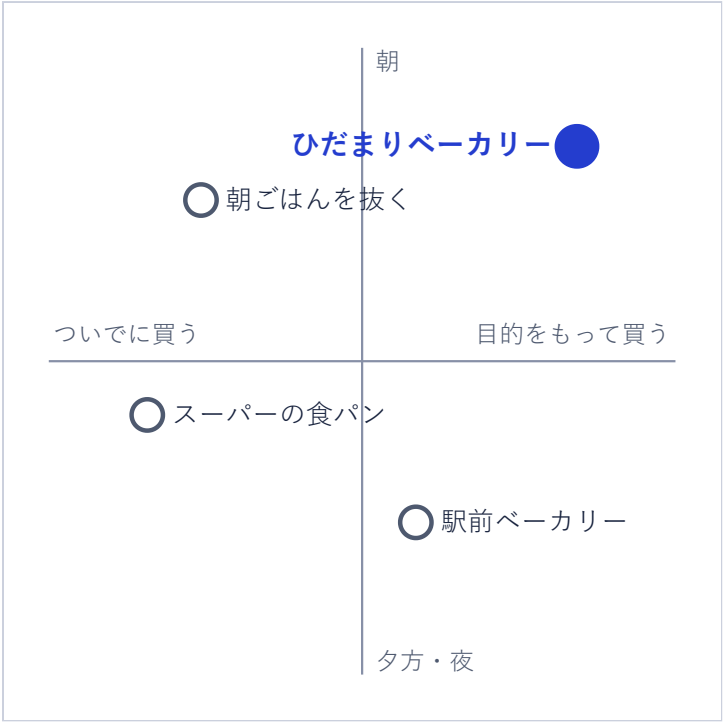
ポジショニング・ステートメント

忙しい朝に家族に安心できるものを出したい近所の親にとって、ひだまりベーカリーは、町のパン屋のなかで、朝7時に焼きたてがそろう唯一のお店です。なぜなら、国産小麦の生地を毎朝4時から仕込み、その日焼いたものだけを並べているからです。

価格の理由

国産小麦と、毎朝4時からの仕込み。前日のパンを並べないぶん、その日に焼き切れる量だけをつくっている。

ポジショニングマップ



言葉のルール

正式な表記

ひだまりベーカリー

読み方

ひだまりベーかリー

ローマ字・英語表記

HIDAMARI BAKERY

略称

ひだまり（会話とハッシュタグだけ）

表記の注意

ローマ字はすべて大文字。「ひだまり」と「ベーカリー」の間にスペースを入れない。

タグライン

毎朝、焼きたてを、となりの食卓へ。

話し方

親しみやすいけど、なれなれしすぎない。

正直だけど、説明しすぎない。

明るいけど、はしゃぎすぎない。

語尾・呼び方・絵文字

です・ます / みなさん / 1投稿に1つまで

使う言葉

焼きたて、おはようございます、季節の、近所の

使わない言葉

激安、限定（本当に限定のとき以外）、最高

自己紹介

30字

毎朝7時、国産小麦の焼きたてがそろう町のパン屋です。

100字

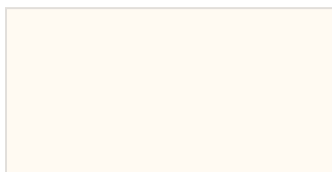
住宅街の小さなパン屋です。国産小麦の生地を毎朝4時から仕込み、7時の開店には、その日焼いたパンだけを並べています。忙しい朝の食卓に、安心しておいしいものを。置き置きも承ります。

300字

住宅街の小さなパン屋です。夫が焼き、妻が店頭に立つ、ふたりのお店です。国産小麦の生地を毎朝4時から仕込み、7時の開店には、その日焼いたパンだけを並べています。前日のパンは並べません。いちばん人気は、子どもがトーストせずに食べてしまうと言われる食パン。忙しい朝の食卓に、安心しておいしいものを届けたくて、このお店を始めました。焼き上がりの時刻は毎朝Instagramでお知らせしています。お電話での取り置きも承ります。

見た目のルール

色



ベース 生成り

#FFFAF2

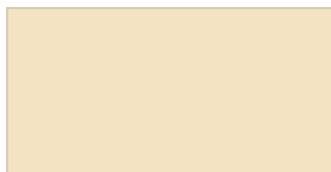
背景・紙袋・店内の壁



メイン 焼き色

#8A4B2A

看板・ロゴ・見出し



サブ 小麦

#F3E3C3

区切り・値札の背景



差し色 朝日

#E0A526

「焼きたて」の札だけ

文字の色

#3A2A20 こげ茶

この色にした理由

焼き色と小麦色は、パンそのものの色。朝日は「朝7時の焼きたて」を知らせる合図に。

書体

見出し

游明朝

本文

游ゴシック

理由

素朴で、きちんとした印象。値札やPOPでも読みやすい。

ロゴ

いまの状態

ロゴがあり、そのまま使う

まわりの余白

「ひ」の文字1つ分

最小サイズ

直径12mm

してはいけない使い方

縦横の比率を変える。メイン色と白以外にする。写真の上に直接置く。

写真

光

朝8時の窓際の自然光

背景

古材の台

色味・加工

加工しない

避ける写真

フラッシュ、たくさん並べた一覧写真

素材の保管場所

共有フォルダ「ひだまり/ブランド素材」

距離

パン1〜2個に寄る。月1回は店の外観

人の写し方

手元だけ（パンを渡す手）

接点と発信

最初に整える3つ

Googleマップの写真・紹介文（100字）・営業時間を更新（今週中）

Instagramのプロフィールを正式表記と30字の紹介文に（今週中）

紙袋に貼る丸シールをつくる（今月中）

発信の柱

今朝の焼きたて

仕込みの時間

季節のパン

近所の朝

使う場所と頻度

Instagram：焼き上がりは毎朝ストーリーズ、投稿は週3回（月・水・金）

Googleマップ：月2回「最新情報」を更新

投稿の型

①見出し「今朝の塩バターロール、焼き上がりました。」

②中身（材料・おすすめの食べ方）

③「朝の食卓が、少しやさしくなりますように。」

④お知らせ（取り置きはお電話で）

ハッシュタグ

#ひだまりベーカリー #〇〇町パン屋 #国産小麦のパン

90日の計画

1～30日目：決める

ブランドブックを仕上げ、常連さん3人に見てもらう。

31～60日目：整える

Googleマップ・Instagram・レシートの表記をそろえる。窓際で撮影をはじめる。

61～90日目：届ける

紙袋のシールを使い始める。週3回の投稿を続ける。

制作をお願いするときに

このブランドブックと一緒にお渡しします。

つくりたいもの

紙袋に貼る丸シール（直径40mm）2,000枚

目的

屋号を覚えてもらう。贈り物にも使ってもらう。

使う場所・場面

紙袋・焼き菓子の箱

納期

11月末

予算

3万円まで（デザイン・印刷込み）

参考（好きなもの・苦手なもの）

好き：素朴、余白が多い。苦手：キャラクター、光沢の強い紙。